

環境効率アワード2009 奨励賞

表彰記念講演

2009年12月11日(金)

『ブリヂストンの環境活動とECOPIA EP100の開発』

釜野 雅仁

タイヤ商品戦略室

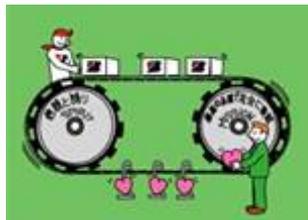
消費財商品企画部長

企業理念と環境宣言

【企業理念】

SPIRIT 精神

「信頼と誇り」



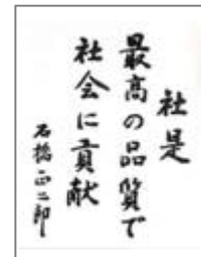
私たちは、人々の安全で快適な生活を支え、喜びと感動を生み出します。

そして、**すべての人々に信頼され、愛され、自らも誇れる企業となる**ことを目指します。

MISSION 使命

「最高の品質で社会に貢献」

「商品」「サービス」「技術」にとどまらず、あらゆる企業活動において最高の品質を追求します。その源泉は人であり、一人ひとりの力を最大限に活かします。



責任あるグローバル企業として、社会との対話と共感を活動の指針とするとともに、広く社会の発展に寄与し、**地球環境の保全に貢献します。**

企業活動における「環境」への配慮は、経営の最重要課題の一つ
「地球環境への貢献を誇れる」べく、積極的な環境活動を行う。

「環境宣言」制定

【経営の最終目標】タイヤ会社・ゴム会社として「名実共に世界一の地位の確立」

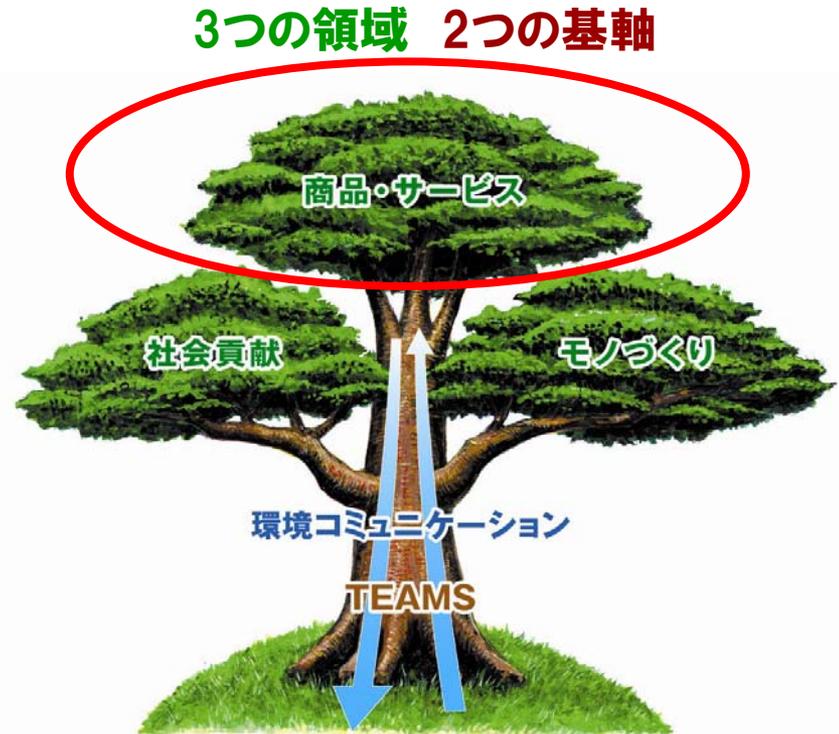
環境宣言-3つの領域 2つの基軸-

未来のすべての子どもたちが「安心」して暮らしていくために…

「ブリヂストングループ」は、社会から信頼され、自らも誇れる企業となることを目指し、持続可能な循環型社会の実現に向けて、地球環境の保全および多様な生活者一人ひとりの安全と健康に配慮した企業活動を推進します。

環境の基本姿勢

3つの領域	商品・サービス	省エネ、省資源などにつながる商品やサービスを提供し、お客様とともに地球環境に貢献します。
	モノづくり	調達、生産、物流などのモノづくりプロセスを通して地球環境と共生できる事業活動を推進します。
	社会貢献	事業活動以外の領域でも地球環境に貢献できるよう、社会貢献活動を推進します。
2つの基軸	環境コミュニケーション	消費者、従業員、地域社会など、当社をとりまくあらゆる関係者(ステークホルダー)との積極的な対話を深め、環境コミュニケーションをより充実させます。
	環境マネジメントシステム (TEAMS)	グループ全体でTEAMSに基づく活動を推進し、さらに上の環境経営を目指します。

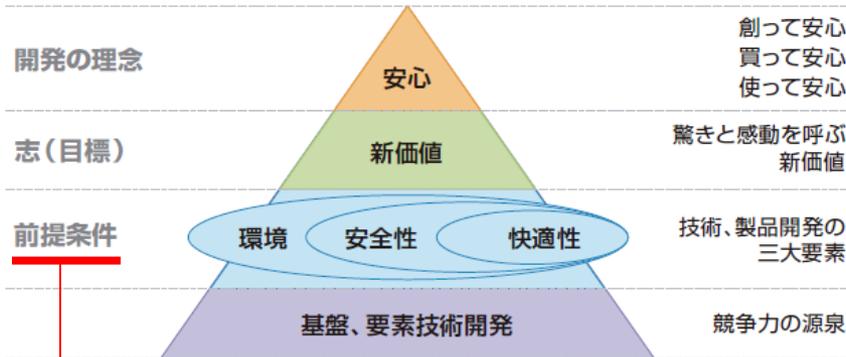


※Total Environmental Advanced Management System

環境自主基準による環境効率の考え方

タイヤの開発概念図

ENJOY THE SURPRISE (従業員、株主、顧客、社会)



環境自主基準を満たした商品に「エコプロダクツマーク」を添付

前提条件

評価区分

評価項目

環境自主基準



-CO2の削減、転がり抵抗の軽減など
-軽量化、摩耗性の向上など
-天然ゴムの使用促進など
-リサイクル材料使用やリトレッド性能の向上など
-社外騒音の低減など
-ウェット性能や氷上性能の向上など

安全性を保ったまま、環境負荷を低減する指標を環境自主基準として設定

= 環境効率を上げることを商品開発の前提条件としている

ブリヂストンの環境対応商品

タイヤ事業・環境商品



ブリヂストンの環境対応商品

多角化事業・環境商品

太陽電池用接着フィルム

<当社のEVAフィルムを使用した太陽電池>



電子ペーパー



超高純度SiC焼結体



ノンフロウウレタンフォーム



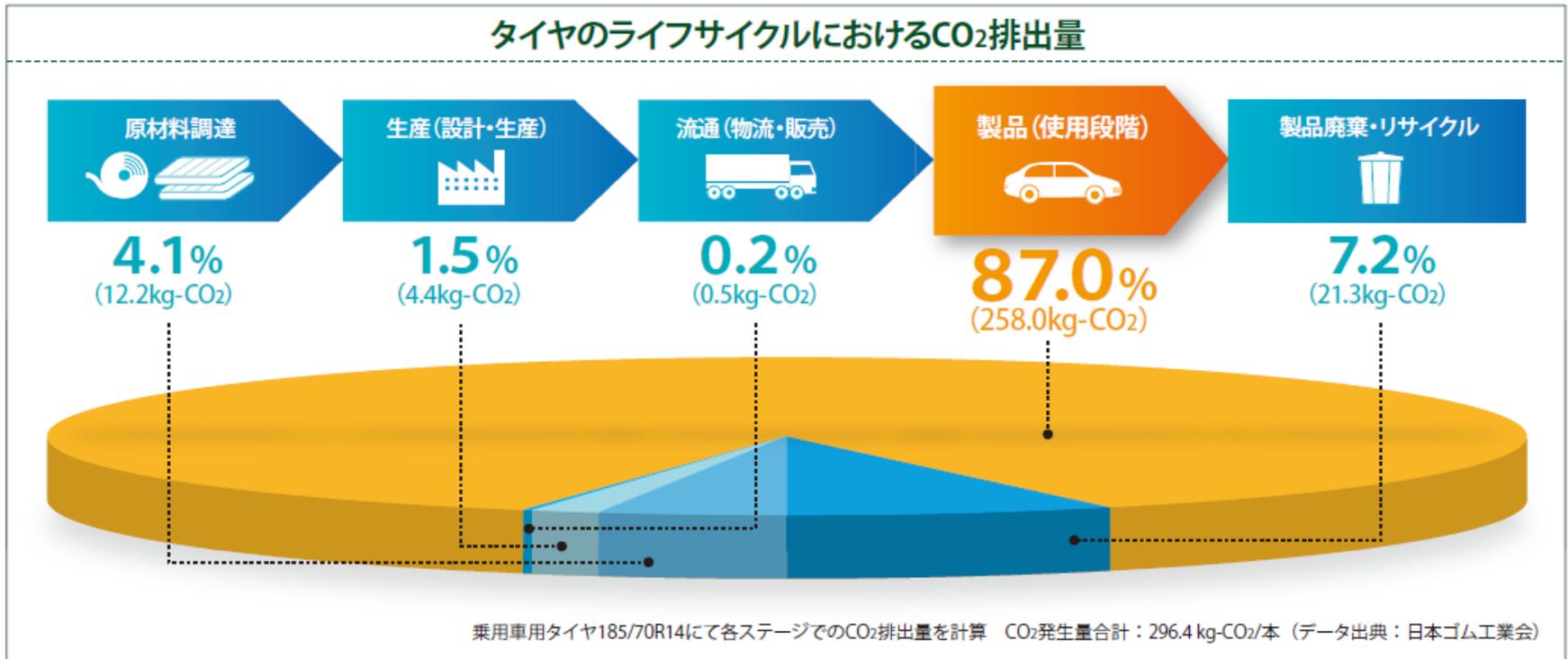
エマルジョン粘着製品



省エネルギー



環境問題対応におけるタイヤの主な役割－地球温暖化の防止



タイヤのライフサイクルにおけるCO₂排出量の87%が使用時のものである
⇒事業領域の広がりをつまえた、多様性のある環境経営活動とともに
『CO₂排出量削減につながる商品』が重要

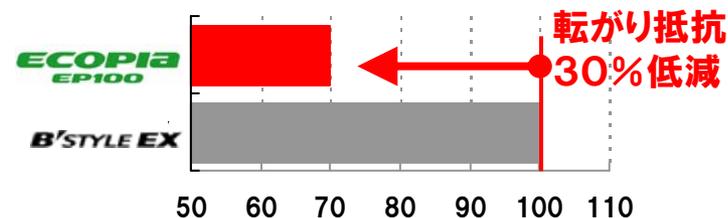
環境問題対応におけるタイヤの主な役割－地球温暖化の防止

■省燃費

ECOPIA EP100

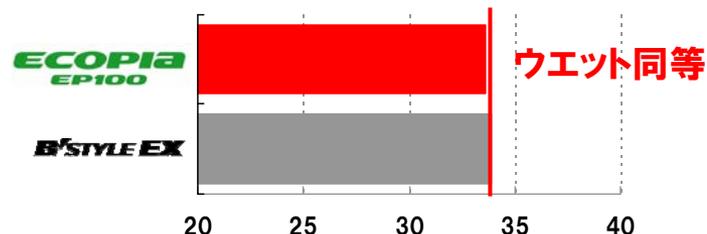


◇転がり抵抗係数指数 [%]



<転がり抵抗試験>当社室内ドラム試験機による測定(フォース式)。<テスト条件>◆タイヤサイズ:195/65R15 91H◆リム:15×6J◆空気圧:210kPa◆荷重:4.41kN◆速度:80 km/h◆転がり抵抗係数(RRC)の結果は、ECOPIA EP100:74.0×10⁻⁴ B'STILE EX:105.6×10⁻⁴です。●タイヤ転がり抵抗の低減率は車両実燃費の向上率とは異なります。●転がり抵抗測定値はタイヤサイズ、試験条件等により異なります。※テスト結果に関する詳細なデータは、タイヤ公正取引協議会に届けてあります。

◇ウエット制動距離 [m]



<テスト条件>●テスト場所:ブリヂストンブルーピンググラウンド アスファルト路●ドライバー:テストコースドライバーによるデータ●計測方法:制動距離を5回測定し、制動距離の平均値を算出。第5輪装着によるブレーキ試験◆初速:80km/h◆水深:2mm◆外気温:26.5~27.0℃◆タイヤサイズ:195/65R15 91H◆リムサイズ:15×6J◆車両:プリウスDAA-NHW20◆空気圧:フロント230 kPa、リア220 kPa◆乗員:2名相当※テスト結果はECOPIA EP100:33.6m、B'STILE EX:33.9mです。※上記テストに関する更に詳細なデータについては、タイヤ公正取引協議会に届けてあります。

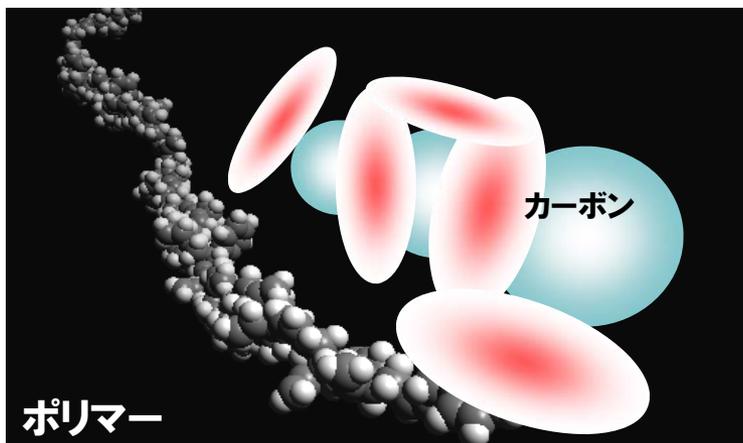
新技術の採用により環境・安全性能を両立

ECOPIA EP100

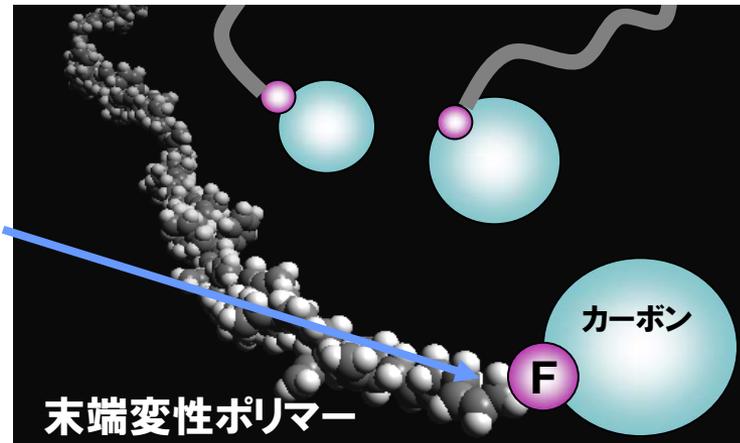
～採用技術～

ナノプロテック (NanoPro-Tech™)

従来のポリマー



EP100用 末端変性ポリマー



ポリマー
末端に反応
性官能基
付加

カーボンが凝集、カーボン同士の擦れにより発熱し、エネルギーロスが発生

カーボンが分散し、カーボン同士の擦れによるエネルギーロスが低減

ブリヂストンは、末端変性ポリマー関連の成立特許を世界で250件以上保有し、この分野で世界トップレベルの技術力を誇っています

御清聴ありがとうございました



One Team,
 **One Planet.**
地球のために、ひとつになる。

